

作物統計調査 令和5年産茶の摘採面積、生葉収穫量 及び荒茶生産量（主産県）

－ 主産県の荒茶生産量は6万8,000 t で、前年産に比べ3%減少 －

【調査結果の概要】

1 摘採実面積

主産県の茶の摘採実面積は2万7,200ha で、前年産に比べ600ha（2%）減少した。

2 生葉収穫量

主産県の茶の生葉収穫量は32万t で、前年産に比べ1万1,100 t（3%）減少した。

3 荒茶生産量

主産県の荒茶生産量は6万8,000 t で、前年産に比べ1,900 t（3%）減少した。

図 令和5年産茶の府県別荒茶生産量及び割合（主産県）

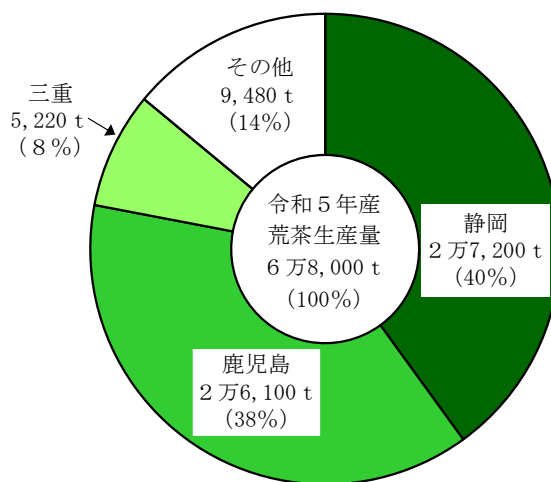


表 令和5年産茶の摘採実面積、10a当たり生葉収量、生葉収穫量
及び荒茶生産量（主産県）

区 分	摘採実面積	10 当 た り 生 葉 収 量	生 収 穫 量	荒 生 産 量	前 年 産 と の 比 較							
					摘 採 実 面 積		10 a 当 たり 生 葉 収 量		生 葉 収 穫 量		荒 茶 生 産 量	
					対 差	対 比	対 比		対 差	対 比	対 差	対 比
主産県計	ha	kg	t	t	ha	%	%		t	%	t	%
	27,200	1,180	320,000	68,000	△ 600	98	99	△ 11,100	97	△ 1,900	97	

- 「摘採実面積」とは、茶を栽培している面積のうち、収穫を目的として茶葉の摘取りが行われた実面積をいい、同一茶園で複数回摘採された場合の延べ面積ではない。
- 「荒茶」とは、茶葉（生葉）を蒸熱、揉み操作、乾燥等の加工処理を行い製造したもので、仕上げ茶として再製する以前のものをいう。
- 本調査は、令和5年産については主産県を対象に実施している。主産県とは、直近の全国調査年（令和2年）における全国の茶栽培面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び茶の畑作物共済事業を実施し、半根殺方式を採用している都道府県である。

◎ 累年データ

栽培面積、摘採実面積、10 a 当たり生葉収量、生葉収穫量、
荒茶生産量の推移（主産県）及び全国荒茶生産量の推移

区 分	栽 培 面 積	摘採実面積	10 a 当たり 生 葉 収 量	生葉収穫量	荒茶生産量	全 国 荒茶生産量
	ha	ha	kg	t	t	t
平成26年産	39,200	35,400	1,040	366,600	78,300	83,600
27	38,500	34,900	1,010	350,700	74,700	79,500
28	37,900	34,300	1,040	357,400	75,400	80,200
29	37,300	33,800	1,070	362,700	77,100	82,000
30	36,500	33,300	1,150	383,600	81,500	86,300
令和元	35,600	32,400	1,100	357,400	76,500	81,700
2	32,700	29,700	1,000	298,000	63,100	69,800
3	31,700	28,800	1,150	332,200	70,700	78,100
4	30,800	27,800	1,190	331,100	69,900	77,200
5（概数）	30,100	27,200	1,180	320,000	68,000	75,200

資料：農林水産省統計部「作物統計」

注：1 令和2年産以降の主産県は、埼玉県、静岡県、三重県、京都府、福岡県、熊本県、宮崎県及び鹿児島県の8府県であり、令和元年産以前は上記に愛知県、佐賀県及び長崎県の3県を加えた11府県である。

2 全国荒茶生産量について、全国調査を実施した平成26年産及び令和2年産以外の値は、主産県の調査結果から推計した。

【 統計表 】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040141900&ext=xls>

【 調査の概要 】

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

【 調査結果の主な利活用 】

- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況の検証のための資料
- ・ 茶に関する生産振興に資する各種事業の推進のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく畑作物共済事業の適切な運営のための資料

【 ホームページ掲載案内 】

- ・ 本資料は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「工芸農作物（さとうきび・茶など）」の「作況調査（水陸稲、麦類、豆類、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y16
- ・ 本資料の数値は概数値であり、確定した詳細な数値はホームページに掲載（令和6年6月予定）します。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

【 関連リンク 】

農林水産施策関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞大臣官房

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

茶に関する情報関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局＞地域特産作物（蚕糸・茶・薬用作物・こんにゃく・いぐさ（畳表）・その他）＞お茶のページ

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tokusan/cha/ocha.html>

— お問合せ先 —

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 普通作物統計班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3682
（直通）03-3502-5687

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 統計広報推進班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3589
（直通）03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>